

公益財団法人まちみらい千代田
第6期第4回理事会 議事録

1 日時

平成31年4月24日(水)午前9時55分から午前10時40分まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア4階402会議室

3 理事現在数

6名

4 出席者

(1) 理事・監事

理事(5名)立川資久、齊藤広子、細越正明、前川秀樹、矢ヶ崎淳子

(欠席者:足助紀彦)

※細越理事は議案第11号及び第12号の事務局からの説明中(午前10時13分)に退席した。

監事(1名)渡邊牧文

(欠席者:河合芳則)

※河合監事は公務のため急遽欠席した。

(2) 事務局

事務局長 小林秀和

グループマネージャー 伊澤優、加藤英明、佐波玲子(以下GMという。)

5 議題

(1) 理事長の職務執行状況報告

(2) 議案 第11号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業計画(案)について

(3) 議案 第12号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期収支予算(案)について

(4) 議案 第13号 公益財団法人まちみらい千代田 処務規程の一部を改正する規程について

(5) 議案 第14号 公益財団法人まちみらい千代田 元号を改める政令の施行に伴う関係規程の整理に関する規程について

(6) 議案 第15号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

6 開会、挨拶、定足数確認

配付資料の確認後、立川理事長が議長となり、開会を宣言した。立川理事長の開会挨拶に続き、本年4月1日付で事務局に任命された小林事務局長と各グループマネージャーが挨拶を行った。

次に出席者について事務局から報告し、定款第46条で定める定足数を満たしており、本理事会が有

効に成立している旨を報告した。その後、議事に入った。

7 報告事項

(1) 理事長の職務執行状況報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項・定款第34条第3項に基づき、立川理事長が職務執行状況の報告を行った。

立川理事長は、区民や区内中小企業の抱える課題等を正確に把握し、また、まちみらい千代田各事業へのニーズ等を的確に分析し、第7期事業計画書(案)及び収支予算書(案)の作成に臨むよう事務局に指導したことを報告した。さらに、これまで事業計画書に事業目標として、アウトプット指標を記載していたが、できる限りアウトカム的な表記を行うように努め、それを各事業のポイント欄に記載したことも併せて報告した。

報告の最後に、第7期においても状況等の変化を踏まえながら、柔軟性と迅速性もった事業展開を指揮していくことを告げた。

8 議事の経過及び結果

(1) 議案 第11号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業計画(案)について

(2) 議案 第12号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期収支予算(案)について

議事の審議に入る前に立川理事長から議案第11号及び議案12号については、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

第7期事業計画(案)については、小林事務局長が事業体系・廃止事業・事務局組織の説明を行った。その後、各GMから担当事業の説明を行った。

- ・住宅まちづくりグループの事業については、伊澤GMが説明を行った。
- ・産業まちづくりグループの事業については、加藤GMが説明を行った。
- ・協働まちづくり総務グループの事業については、佐波GMが説明を行った。

第7期収支予算(案)については、小林事務局長が第6期収支予算と比較をしながら説明を行った。また、予算執行にあたっては、千代田区との連携・協力のもと、健全で明瞭な運営に努めることを説明した。

説明後、以下のような質疑や意見があった。

(理事)

マンションカルテの活用方法として、東京都や千代田区のマンションに関する条例と連携することは考えているか。

(事務局)

具体的な話は進んでいないが、第6期で実施したマンション実態調査は千代田区と連携して実施した。

そのような中でマンションカルテを千代田区が検討しているマンション条例の基礎資料として活用できればと考えている。現在、千代田区ではすでに施行されている東京都の条例との整合性を図っている段階である。

(理事)

住戸数200戸以上のマンションと超高層マンションは何棟あるのか。

(事務局)

住戸数200戸以上のマンションは13棟、超高層マンションは7棟ある。

(理事)

千代田まちづくりサポート事業の中で、新たな部門(地方連携部門)の設置を検討すると記載されているが具体的にどのようなことを想定しているのか。

(事務局)

千代田区・地方双方にメリットがあるような部門の設置を想定しており、具体的なことはこれから検討を進めていく。

(監事)

収支予算書(案)で基本財産受取利息と雑収益受取利息が大幅に減少しているように見受けられるが、これはどういうことなのか。財産が減っているのか。

(事務局)

財産は減少していない。前期は大きく予算立てをしていたが、第7期では実態に合わせた形で計上している。

(理事)

千代田ビジネス大賞では、過去のエントリー企業が再度応募することは可能なのか。

(事務局)

大賞・千代田区長賞・東京商工会議所千代田支部会長賞・東京中小企業家同友会千代田支部長賞を受賞したことがある企業以外は再度応募することを可能としている。

質疑応答後に本議案について、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(3) 議案 第13号 公益財団法人まちみらい千代田 処務規程の一部を改正する規程について

小林事務局長がまちみらい千代田における専決すべき事案について適正化を図るため、処務規程の一部改正を提案する旨の説明を行った。

本議案について、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(4) 議案 第14号 公益財団法人まちみらい千代田 元号を改める政令の施行に伴う関係規程の整理に関する規程について

小林事務局長が元号を改める政令の施行に伴い、現に施行されているまちみらい千代田の規程の様式を変更する必要がある、その整理について規程を定めることを提案する旨の説明を行った。

本議案について、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(5) 議案 第15号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

小林事務局長が第6期第3回評議員会について、開催の日時・会場及び議題の説明を行った。
本議案について、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

9 閉会

以上をもって、すべての議事を終了したので、午前10時40分に立川理事長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長及び監事がこれに署名、押印する。

平成31年4月24日

公益財団法人まちみらい千代田
第6期第4回理事会

理 事 長 立 川 資 久 ⑩

監 事 渡 邊 牧 文 ⑩